

学会ニュース

.....・第97号 2022年1月

目次

・ 2021年度学会費納入のお願い 1
・ 第43回大会および第44回大会について 1
・ 2021-2022年国際執行委員会報告（玉田 敦子） 2
・ 事務局より 3

2021年度学会費納入のお願い

代表幹事 逸見 龍生

学会の活動は皆様の会費によって支えられています。事務局におきましても円滑な学会運営のため身を引き締め変わらず努力する所存ですが、会員の皆様にはどうか苦しい学会の財政事情をご理解いただき会費納入にご協力をお願い致します。

口座番号は以下の通りです。

〈郵便口座振替で振り込む場合〉

口座記号番号：00800-7-183350 口座名称：日本18世紀学会

〈銀行等から振り込みする場合〉

銀行名：ゆうちょ銀行 店名：〇八九店（ゼロハチキュウテン）

預金種目：当座預金 口座番号：0183350

行き違いにより、会費を納入したにもかかわらず振替用紙が届いた方は、お手数ですが、事務局までご連絡ください。

第43回大会および第44回大会について

今年度の第43回大会は、2021年6月26日（土）に関西大学で開かれる予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、オンライン（Zoom）形式で実施いたしました。開催校責任者の安武真隆会員と中澤信彦会員をはじめ、関係者の方々に篤くお礼申し上げます。

来年度の第44回大会については、第43回と同じく、オンライン形式で開催します。大会開催校は設けません。日程は2022年6月25日（土）と26日（日）を確保するが、発表申込数が少なければ25日のみに実施します。共通論題については、若手研究者を中心にルソーについてのセッションを設ける方向で検討します。レクチャーコンサートについては、事務局を中心に企画を立てます。

自由論題公募要領

第44回大会で発表を希望される会員は、1000字以内の発表要旨をつけて、2022年2月28日（月）までに学会事務局宛、メールか郵便でお申し込みください（連絡先は学会ニュース末尾に記載されています）。なるべくメールでお願いします。メールの場合は、要旨を添付ファイル（「ワード」形式）またはメール本文にコピーしてお送りください。郵送の場合は要旨のプリントアウト原稿および電子ファイル（「ワード」形式で作成されたもの）の両方をお送りください。報告の採用の可否は幹事会で

審査し、事務局から後日お知らせいたします。

発表は1件につき50分、うち報告が40分、質疑応答が10分の予定ですが、申込者が多数の場合は、個々の発表の時間を短縮したり、あるいはこれまでの発表の有無、共通論題を含む諸分野のバランスなどを勘案して、幹事会で調整させていただいたりすることもありますので、この点はあらかじめご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

詳細はプログラムが決定され次第、事務局から個々に連絡申し上げます。

2021-2022年国際執行委員会報告

玉田 敦子

本年、国際18世紀学会の国際執行委員会は、新型コロナウイルスの感染がなお拡大中のため、①第一回委員会（運営予算の確保を目的としたメール審議：2021年8月6日～13日）、②第二回委員会（ローマにて開催されるハイブリッド会議：2022年1月11日～13日）の二回にわたって開催されることになった。

今回提示された審議事項は、第二回委員会において決定される予定であるが、ここでは第一回委員会において審議事項として提示され、過半数の会員の承認を経た議案について報告をおこなう。なお来年初頭にローマにて開催される第二回国際執行委員会は、現地にて開催された上、出席が叶わない委員はオンラインにて参加ができるハイブリッド形式でおこなわれる。現在のところ、日本からの渡航の可否は判断しかねるが、いずれの状況下においても隠岐会員と玉田が参加する予定である。

さて、過去の学会ニュースでも報告したとおり、1967年以来、40年にわたって国際18世紀学会の財務管理をしていたオックスフォード大学ヴォルテール財団が全集刊行の終了に伴って業務を縮小したことから、2019年8月に新たに財務管理を継承する組織として、ソルボンヌ大学に新法人「IAECS（18世紀研究アソシエーション）」が設立された。現在、国際18世紀学会は、フランスの1901年アソシエーション法に基づく非営利団体（コード番号はW751253406）として運営されている。

第一回国際執行委員会においては、まず、組織変更後も国際学会が順調に運営されていることが報告された。財政面に関しては、会計担当のエレーヌ・キュサク（Hélène Cussac）から年間予算が提出されたが、2019年にエジンバラ大会を成功させた英国18世紀学会による10000ユーロを超えるドネーションを受けたこともあり、好調である。

選挙管理委員会からは、同委員会を代表してリーズ・アンドリーズ（Lise Andries）が2023-27年のISECS役員選挙候補者の予備リストを提出した。今回の選挙においては国際学会から「事務局長補佐（Assistant Secretary General）」に隠岐さや香会員（現執行委員・日本学会代表）が推挙されている。日本18世紀学会の会員におかれては、是非この機会に国際18世紀学会の名簿にもご登録の上、選挙に投票をいただきたい。

なお国際18世紀学会では、近年、若手研究者の育成を重要な課題としており、2022年は9月25日～30日、オーストリア南部のライプニッツ郡セッカウ城にて「18世紀の戦時下における認識と記憶」をテーマとした若手セミナーが開催される。2022年の若手セミナーを主催する東南ヨーロッパ18世紀学会（Society for Eighteenth Century Studies on South Eastern Europe）は現在、2011年の第13回国際18世紀学会大会が開催されたグラーツ大学を拠点としている。募集定員は15名、〆切は2022年1月31日まで、応募の宛先はsog18@uni-graz.atである。応募の詳細については日本18世紀学会ウェブサイト記載の案内を参照されたい。公募の結果については、2022年2月28日までに応募者全員に通知される予定である。

次回、2023年の国際18世紀学会ローマ大会については、イタリア共和国の学事暦の変更に伴い、やむを得ず日程が前倒しとなり、予定より数日早い2023年7月3日～7日に開催されることとなった。日

本学会からは、2023年度のローマ大会においてハイブリッド参加を可能にすること、また今後、日本の学事暦に配慮することを要請する予定である。



事務局より

学会ニュースの発行頻度と発送方法について

従来は年に三度、春（5月）、秋（9月～10月）、冬（1月）に学会ニュースを発行しておりましたが、特別な必要がない限り、秋の発行を取りやめます。秋に学会ニュースを発行していたのは、6月の大会に参加しなかった会員に『年報』を郵送するタイミングに合わせていたという意味があります。『年報』の配布を印刷会社からの直送に切り替えたことにより、秋に学会ニュースを発行する意味が薄れました。学会ニュースを年二回の発行に切り替えることにいたします。

また、今回は学会ニュースを日本郵便の「Webレター」によって発送しました。

いずれも事務局の負担軽減を図るための措置です。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

議事録のウェブ掲載について

上述のWebレターでは、一度に封入できる紙の枚数に制限があります。そのため、学会ニュース以外の資料（幹事会議事録と総会議事録）を学会ウェブサイトにパスワードつきで掲載します。パスワードはすべてのファイルに共通です。管理にはご注意ください。

会員種別の導入とこれに伴う年会費の変更について

2020年度より、会員種別が導入され、年会費が変更されております。

通常のA会員の他に、次世代支援のため、学生または常勤職をもたない方達を対象とするB会員を設けました。従来の一律5,000円であった年会費にかえて、A会員は6,000円を、B会員は3,000円を、それぞれの年会費として毎年所定の期日までに納入して頂くこととなります。

会員種別および変更後の年会費は、『年報』末尾および学会ウェブサイトの会則最新版で既に改正後のもの（会則第5条）を掲載しております。年会費について証明をご希望の方は、『年報』または学会ウェブサイトの「日本18世紀学会会則」を印刷してご利用ください。

メールアドレスご登録のお願いとメーリングリストのご案内

日本18世紀学会では、会員の皆様のメールアドレス登録を進めています。それに基づくメーリングリストを介して、学会や研究会のお知らせなどをメールによって会員の方々に迅速にお知らせすることができています。大会のオンライン開催は常態化しつつあり、さまざまな案内にはメーリングリストを利用します。メールアドレスをまだ登録されていない方や、アドレスに変更のある方は、事務局までご一報ください。

また、日本18世紀学会の全会員は同時に国際18世紀学会に所属するため、日本18世紀学会に登録されたメールアドレスは同時に国際学会にも登録されます。国際学会へのメールアドレス登録を希望されない会員は、お手数ですが事務局まで個別にお申し出ください。

国際学会にメールアドレスが登録されると、国際学会からの重要な連絡を直接受け取ることができます。この登録にともない、各会員にはIDとパスワードが送られます。これを用いると、国際18世紀学会のサイトSIEDS-DIRECTに登録される会員情報にアクセスし、それを修正することができます。

（基本的に個人情報是非公開となっておりますので、希望する会員のみ、SIEDS-DIRECT上で「公開」

を選択していただくこととなります。) 数年おきの国際学会の役員選挙の際も、このIDとパスワードがあれば、郵送によってではなく、インターネットを通して投票することができます。

国際学会のメール登録一般と個人情報の公開の可否について不明なところがある場合は、日本18世紀学会事務局 (jsecs18@gmail.com) もしくは直接に国際学会ウェブサイト担当者 (Nelson Guilbert氏 : admin@isecs.org) に問い合わせてください。

『年報』への論文投稿について

大会での発表をもとにしたもの以外の論文も投稿できます。詳しくは年報または学会ウェブサイト記載の投稿規程をご覧ください。

『年報』第36号に掲載された書評について

『日本18世紀学会年報』第36号(2021年6月発行)に掲載された『十八世紀叢書第7巻 生と死——生命という宇宙』についての寺田元一会員による書評は本書の内容紹介が十分ではないとの申し入れが記者からあり、『年報』第37号に書評を補完する記者による文書を掲載することにいたします。

投書欄について

この「学会ニュース」に投書をしていただくこともできます。事務局までお申込み下さい。

共通論題のテーマ、および書評対象図書

会員からの提案を随時受け付けています。事務局または担当幹事まで。(ただし、共通論題のテーマ決定に際しては開催校の希望が優先されるので、必ずしもすぐにご提案が実現するとは限りませんが、事務局から開催校や幹事会に伝達します。)

当学会は学際的な学会であるため、会員の研究が広範囲に及び、担当幹事だけでは各分野の重要文献の情報を集めるのが困難です。書評で取り上げるに値すると思われる図書がある場合、事務局までお知らせください。(特にご自分の専門分野が当学会で十分に扱われていないと思われる方は、積極的にご推薦ください。)

学会ニュースのエッセー

今のところ、事務局から執筆をお願いしていますが、会員の皆さんからの希望も受け付けています。執筆を希望される方は事務局までお知らせください。

寄付のお礼とお願い

前号以来、以下の方から寄付がありました。お礼申し上げます。

米谷郁子会員	4口	4,000円
長坂道子様(非会員)	0.5口	500円
橋本登代子会員	33口	33,000円
匿名希望	50口	50,000円
計	87.5口	87,500円

寄付を希望される方は、「寄付金」と明記のうえ、年会費と同じ郵便振替口座に振り込んでください。

献本

学会宛に以下の図書をいただきました。お礼申し上げます。

- ・ 内村理奈『名画のドレス 拡大でみる60の服飾小事典』（平凡社、2021年7月）
- ・ 小風尚樹／小川潤／櫻田宗紀／長野壮一／山中美潮／宮川創／大向一輝／永崎研宣（編）『欧米圏デジタル・ヒューマニティーズの基礎知識』（文学通信、2021年7月）
- ・ J・G・A・ポーコック『野蛮と宗教 I エドワード・ギボンの啓蒙む』田中秀夫訳（2021年10月、名古屋大学出版会）
- ・ 松田聡『モーツァルトのオペラ 全21作品の解説』（2021年11月、音楽之友社）

新入会員の方へ

毎年6月の幹事会で入会を承認された方はその年度からの会員となります。6月の幹事会以降に入会を申し込まれた方は12月の幹事会で承認され次年度からの会員扱いになりますので、会費の請求はありませんが、他の会員同様に諸種の配布物をお届けいたします。

新会員の勧誘のお願い

ぜひ18世紀研究に関心のある方を本会にご勧誘ください。入会申込用紙は日本18世紀学会ウェブサイトからダウンロードできますので、よろしくお願いたします。

幹事会メンバー（50音順）：出羽尚（年報編集）、岩佐愛（ウェブ／広報）、王寺賢太（大会）、大石和欣（大会）、隠岐さや香（国際執行委員会派遣委員）、金沢文緒（ウェブ／広報）、川島慶子（ダイバーシティ）、川村文重（年報編集）、小関武史（事務局長、会計）、後藤正英（年報編集）、坂本貴志（総務）、武田将明（年報編集）、玉田敦子（国際執行委員会幹事）、鳥山祐介（年報編集）、逸見龍生（代表幹事）

会計監査：井関麻帆、奥香織

事務局委員：飯田賢穂、高橋駿仁、淵田仁

日本18世紀学会ニュース 第97号 2022年1月発行

発行者 日本18世紀学会 代表者 逸見龍生

事務局 〒186-8601 東京都国立市中2-1

一橋大学大学院言語社会研究科 小関武史研究室 日本18世紀学会事務局

e-mail: jsecs18@gmail.com

tel: 042-580-9035

<https://www.jsecs.jp/>